

平成28年度

第2回中央区環境行動計画推進委員会

日 時 平成29年1月27日（金）14:00～16:10

場 所 中央区立環境情報センター研修室

【議事概要】

議題1 中央区環境行動計画事業の推進状況

（資料1）中央区環境行動計画事業の評価

（資料1-2）中央区環境行動計画事業の目標達成状況

●委員

資料1は、策定当初からの達成状況をまとめたものか。

●区

平成27年度の実績をまとめたものである。

●委員

資料1-2には、環境区民会議（以下「区民会議」）や環境情報センター（以下「センター」）に関する記載があるが、資料1に記載がないのはなぜか。

●区

区民会議は、平成25年度以降、開催実績がないため、記載していない。

なお、この会議は、センターの開設に伴い、そちらの運営に取り込まれたものと認識している。

●区

センターについては、本計画の中では、施設の整備が目標となっているため、記載していない。

●委員

開設後の取組状況についても記載すべきである。

●区

資料3で個別に報告させていただく。

●委員

資料1は、平成27年度の実績をまとめたようだが、累計実績が記載されている部分もあり、統一感に欠ける部分がある。

年度ごとではなく、これまでの10年間を総括した記載のほうが改定時の参考資料として活用できると思う。

●委員

資料1及び資料1-2は、取組状況を説明した単なる事務事業評価であり、施策評価

とは言い難い。

各事業が二酸化炭素の削減目標にどのくらい効果を及ぼしたかを評価すべきであり、それが難しければ、他の方法を考えなければならない。

これほど多くの施策体系があると、予算の投じ方にも差が出るだろうから、目標達成が難しくなってくるのだと思う。

「選択と集中」という観点で、重点的な施策に絞り込んだ体系に改め、コストパフォーマンス（費用対効果）を上げるよう努力していくべきである。

●委員

年4回のタイトなスケジュールでは、他の方法を考えるのは難しい。

区では、何か参考になる評価方法はあるか。

●区

資料1は、区（企画財政課）で実施している行政評価を参考にし、よりわかりやすく整理したものである。

ただし、行政評価とは言っても、全ての施策を評価できるわけではない。

「交通」という分野を例にとると、区が取り組める事業には限りがあるので、これらの進捗状況や課題、方向性を整理するという方法で評価している。

●委員

単なる事務事業の評価になってしまっている。数値目標と実績を比較しただけでは、施策評価とは言えない。

どの事業が二酸化炭素の削減に向けて有効であるかの見極めが必要であるし、そのように評価することで、重要な施策体系が見えてくるかもしれない。

削減目標に対して、各事業をどう評価していくか、引き続き検討してほしい。

●区

いろいろと検討してみたが、どう評価すべきか、非常に難しい問題である。

来年度の委員会では、各委員から多くのご意見を賜りたいと思っている。

また、来年度は、コンサルタントに改定業務の支援をお願いする予定なので、他区の例も参考にしながら、評価方法などを検討していきたい。

●委員

本計画と基本構想・基本計画の関係をどう考えるか。

●区

基本構想は、20年後を見据えた区の将来像を示したものであり、直接、大きな関わりはないと思う。

それに対し、基本計画は、今後10年間の施策体系を示したものであるため、きちんと整合性を図っていく必要がある。

●委員

資料1には、できるだけ定量化した記載（数量での記載）をお願いする。

(例えば、小型家電の総回収量やLED照明(機器助成や公園・街路灯など)の件数・総ワット数など)

次回の目標設定に当たり、できるだけポテンシャル量を算出してみしてほしい。

(例えば、遮熱性舗装などの道路事業で整備可能な㎡数など)

●委員

資料1での河川水質調査は、NPOと連携して実施しているのか。

●区

連携はしていない。

●委員

次回の改定に際しては、関係機関との連携を強調した書き込みも必要だと思う。5年毎に実施する水生生物調査も同様のことが言える。

議題2 中央区コミュニティサイクル事業実証実験の利用実績(資料2)

●委員

事故はどんなケースか。また、どんな対策を講じているか。

●区

自転車同士の接触、人や車との接触などのケースがあり、区内では、事業開始から15件ほど発生している。今後、利用が増えれば、事故も増えてくるだろう。

事故が発生した場合、利用者には、損害保険が適用されるが、その保険料は利用料金に含まれている。

なお、事業者は、会員に対して、登録した携帯電話あてに事故の事例などを載せた、注意喚起のメールを定期的に流している。

●委員

リーフレットには、事故が発生した場合の対処方法は載せているか。

●区

対処方法ではなく、「自転車安全利用五則」を載せ、注意喚起を徹底している。

●委員

口頭で説明した内容は、資料中に表や文章で表現してほしい。

(例えば、相互乗り入れを開始した時期、各区の参入時期、区の保有台数、事故の状況・件数など)

各区の利用回数の表があるが、縦軸に「出発地」横軸に「着地」など簡単な補足説明を入れてほしい。

●区

次回の資料に反映させる。

議題3 環境情報センター利用等実績(資料3)

●委員

表面の総来館者数と裏面の講座参加数との関連がわかりにくい。

●区

総来館者数と講座参加者数は、重複している部分がある。

●委員

各件数の関連が見えるような工夫をしてほしい。

●区

次回の資料では工夫する。

議題4 中央区の森環境ふれあい村構想の取組（資料4）

●委員

来年度の取組は、もう決定した内容なのか。

●区

予算がまだ確定していないので、あくまでも方向性として示したものである。

なお、本資料は、「中央区の森環境ふれあい村推進協議会」で使用した資料を基に作成したものである。

●区

現時点では、予算内示の段階である。議会での議決を経ないと公表できない。

次回の委員会では、時間があれば、来年度予算の状況にも触れていきたい。

●委員

資料中、来年度に向けて「継続」との表現が多い。単に現状維持という消極的な意味に受け取れる。継続するとともに、さらに拡大していくような表現を用いてほしい。

これまでの実績を紹介するためにも、書籍化や少し厚めのパンフレット作成など、もっと積極的にアピールする方法はないのか。

●区

今のところ、広報誌、ホームページ、環境情報誌などで広くアピールしている。

●委員

区を越えた幅広いアピールが大切である。

●委員

中央区の森のツイッターやフェイスブックはあるのか。

●区

区（広報課）の公式ツイッター及びフェイスブックはある。

●委員

口コミで評判が伝わっていけば、広くアピールできる。

●委員

実際に行った人が写真などをアップしたりするのもいいだろう。

●区

とても有効なツールだと思うので、広報課と協議のうえ、検討していきたい。

議題5 中央区環境行動計画の改定スケジュール案（資料5）

●委員

スケジュールは非常にタイトだと思う。

次回の改定に盛り込んでほしい内容やその他ご意見・ご要望などをお願いしたい。

また、追加資料として配付した、現行計画の目次を参考のうえ、どんな構成にするべきかなどのご意見・ご要望などもお願いしたい。

なお、この場に限らず、本日から2週間を目途にして、事務局あて電話、ファクス、メールなどでご提出いただければと考えている。

●委員

3R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進とよく言われるが、リサイクルはもはや当たり前の取組である。

国も2R（リデュース・リユース）を強化すべきとの方針を示しているので、そうした書き込みをしてほしい。

また、飲食業者が多い本区の場合、食品ロスの削減も大きな課題なので、国や都の動向を見ながら、区としての対応策を検討してほしい。

●委員

昨年度、中央区清掃・リサイクル推進協議会の中で、「一般廃棄物処理基本計画」を改定したが、この中で既に触れられている内容である。

改定に当たっては、本文に詳しく書き込む必要はなく、要点のみ記載すればよい。

ただし、目次部分には、関連計画として名称を入れておいたほうがよい。計画全体の構成や他の計画との関連がわかるような目次づくりが大切である。

現行計画では、温暖化対策に関する部分のウエイトが高いが、温暖化対策を定めた計画は他にあるのか。

●区

温暖化対策を定めているのは、本計画のみである。

●委員

本計画のみならば、温暖化対策に関する部分は手厚く書くことになるし、「温室効果ガス排出抑制実行計画」や「EMS（環境マネジメントシステム）」などを下位計画として関連付けていく必要がある。また、温暖化対策以外にもが緑や水辺の整備、自転車などによるエコモビリティの推進なども重要な施策として、目次で見せるような書き方を工夫してほしい。

●委員

新計画の期間中にオリンピックを迎えるが、大会後に選手村が新たなまちに生まれ

変わると聞いている。人口もかなり増えるだろうから、計画の内容に大きな影響を及ぼすことになると思う。

●委員

中間見直しで対応すればよい。

●区

本文中にその旨明記しておけば、十分に対応できる。

なお、大会後のまちづくりでは、東京都がエネルギーの有効活用を図る計画の策定を進めており、別途情報提供させていただく。

●委員

現行計画は、旧計画（中央区環境保全行動計画）での成果や課題を十分に反映させたものか。

●区

詳細は不明だが、当時設置されていた検討委員会で審議を行っている。来年度は、この10年間で生じてきた課題や方向性を十分に反映させた計画となるよう、改定作業を進めていきたい。

●委員

計画の進行管理において、PDCA（Plan、Do、Check、Action）サイクルは、とても重要な役割を果たす。現行計画の目次を見ると、特に触れていないようだが、改定の際には、本文中にこのプロセスを実践していくことを明示してほしい。

区民等への意識調査は行うのか。特に、事業者の場合、中央エコアクトの認証件数が低いため、区に対する要望等を把握できるような調査を実施してもらえればと思う。

●区

回収率の低さなどの問題があり、予算計上はしていないが、区民世論調査の中で、環境に関する項目を設ける方向で調整している。

事業者については、センターに登録している団体やNPOを通じての調査などを検討するとともに、小中学校の児童生徒向けの調査も検討する。

●委員

第6章には、地球温暖化防止条例制定の検討とあるが、具体的に何か考えたのか。

●区

特に検討はしていない。

●委員

いろいろ調べてみたが、千代田区や中野区は条例を制定しているようだ。

他区の動向も調べておいたほうがよいと思う。

●区

調べておく。

●委員

第2章には、地域環境、地球環境とあるが、都市環境、生活環境、自然環境、地域の環(わ)の各項目についても、目次に載せたほうがよい。

●区

検討する。

●委員

資料1-2での区民会議は、センターの運営に取り込まれたとの説明があったが、廃止したという意味なのか。もし、廃止したとしたら、その旨周知しているのか。

●区

周知はしていない。この会議が設立された後、本委員会の設置やセンターの開設など、区民や事業者の方の意見を聴く機会ができた。このような状況では、区民会議を継続する必要性はあまりないと認識している。なお、あくまでも廃止ではなく、休止と捉えている。

●委員

区民会議を通して、改定に関する意見などを集約するものかと思っていた。
意見を反映させる方法は、パブリックコメントだけか。

●区

パブリックコメントだけでは、十分な意見反映はできるとは考えていない。
センターを利用する方々のさまざまなご意見をお聴きする機会があればと思う。

●委員

区民会議も当初は活発に開催されていたが、いろいろと事情があって開催しなくなってしまった経緯がある。

例えば、センターで2月11日に登録団体の活動発表会が開催されるが、全体会のほか、団体同士の意見交換の場として分科会も開かれる。そうした場を活用することにより、区が関わっていく方法もあると思う。

●委員

主催者側が多く意見や要望を取りまとめる役割を果たしてくれれば、区の負担も軽くなると思う。

●委員

前回の改定時に関わっていたので、とても感慨深い思いである。二酸化炭素の削減目標に向け、いかにして市民参加にダイナミズム（力強さ）を見出していかないと考えてきたが、やはりとても難しい問題であると改めて感じている。

次回の改定に当たっては、事業の成果（アウトカム）を評価するための新たなやり口を考えていかないと、なかなか事務事業評価の域を脱することができないと思う。

●委員

行政だけで考えていくのには、もはや限界があるかのように思える。

ツイッターなどの口コミ・投稿の中に何かいいヒントが見つかるかもしれない。

評価方法はいろいろある。例えば、部内でお互いの取組を検証・評価し合う方法（ピアレビュー）は、かなり効果があると思う。また、目標に対して、どの施策がより重みがあるかを点数化していく評価方法などもある。検討してほしい。

●区

評価方法に詳しくないので、是非とも別途ご相談させていただきたい。

以上